

平成 22 年度 福井県立大学大学院
経済・経営学研究科博士前期課程
入学者選抜試験問題(第 2 次)
専門科目
経済政策・経済史・経営各論・会計分野

以下の問 1～問 4 の中から 1 問を選んで解答しなさい。

問 1 (経済政策) 新自由主義の経済政策について論じなさい。

問 2 (経済史) 1930 年からの昭和恐慌に関して、(1)その発生プロセス、および(2)その後の日本経済社会への影響、について具体的に論ぜよ。

問 3 (経営各論) 以下の問題のうちいずれか一題を選び、回答せよ。

(1) 今日の経営戦略には、大きくポジショニング・ビューとリソース・ベースト・ビューの 2 つの潮流があるといわれる。この 2 つの見方についてあらましを説明し、なぜそれらが 2 大潮流になるかの理由についても述べよ。

(2) マーケティングで 4 P ということがいわれる。また、4 C ということもいわれる。両者の内容を説明し、どのような点で違いがあるかについても述べよ。

(3) 企業経営において人と組織のあり方はきわめて重要なことである。では、今日の企業をとりまく情勢の下で、人と組織のあり方には、どのようなことが要請されているか。より具体的には、組織成員にやる気を出させ、企業に成果をもたらすには何が必要か。また、企業側としては、実際にどのような方策をとっているか。これらについて、自らの知るところや考えを述べよ。

問 4 (会計) 投資経済計算で使われる正味現在価値法と割引回収期間法について両者を比較論評しなさい。